

座席番号	
受験番号	
氏名	

合計得点	
------	--

二〇二四年度 普連土学園中学校入学試験

二〇二三年二月四日実施

四日午前四科 国語 解答用紙 一

問題一

問一 a

イ

b

ウ

c

ア

問二

イ

問三

広角の時とアップの時とは異なる情報を手に入れることになるから。
(情報の質や量が違うから。)

問四

「こ
れは
フ

く
を
常
に
持
つ

ようにすること。

問五

撮った映像を編集して、雰囲気を変えること。

問六

事
実
の
断
片

問七

雨が多かったから「雨乞いの儀式」は不要だったのに、村人に頼んで特別にしてもらったこと。

問八

視聴者や読者によるこんで見てもらえるようにするため。

問九

エ

問題二

問一 a

オ

b

エ

c

ア

問二

算数のドリルやプリントの問題がもう少しで解けそうで、集中していたから。

問三

あおいが真剣に取り組んでいる算数の勉強とゲームのような遊びを自分が同等に扱うことに、あおいが不快に感じる(嫌な思いをする)と思ったから。

座席番号
受験番号
氏名

合計得点

問四 (自分のいとこなのに) あおいの勉強に取り組む姿勢があまりに自分と違うと感じたから。

問五 友人達が 去年の大会の後に、陰口いっとったの、きいてしまった こと。

問六 響子先生の、病気が見つかった時にはすでに手遅れであった祖父や看病する祖母が、つらくないようたくさん話をきいてくれたり、悲しむ家族をほっとさせたりするような、患者やその家族の気持ちに寄り添う姿勢。(に安心感を与えたりするような、)

問七 ウ

問八 (楽な方に逃げようとしている自分に比べて、颯太は、)自身にとってハードルの高い遠泳大会にまっすぐに向き合い挑戦しようとする(、その気持ちがあおいに伝わり、そんな)颯太のことを少しうらやましく思ったから。

問九 ア

問題三

① 順延 ② 墓穴 ③ 固辞

④ 背 ⑤ 利

⑥ ごんげ ⑦ ていさい ⑧ も

⑨ きんもつ ⑩ ほんもう

問題四

① シ ② サ ③ エ ④ ケ ⑤ カ

⑥ キ ⑦ ク ⑧ コ ⑨ ウ ⑩ オ

問題五

① エ ② ア ③ イ ④ ウ ⑤ イ